

# FURUKAWA COMPANY REPORT



△ 古河機械金属株式会社 第159期中間(第2四半期)のご報告 | 2025年4月1日～2025年9月30日  
証券コード: 5715

## 社長メッセージ

持続可能な共生社会の実現に向け  
次の150年も事業活動を通じて、  
社会課題の解決に貢献していきます。



代表取締役社長  
中戸川 稔

古河機械金属グループは、2025年8月に創業150年という大きな節目を迎えました。150年にわたり幾多の困難を乗り越え、事業を継続できたことは、古河市兵衛の創業の精神を受け継ぎ、多くの先人たちが常に新しいことへ挑戦し続けてきた証であり、次の100年、150年に向けて歩みを進めるにあたり、創業の精神を胸に、決意を新たにしています。

当社グループは、2015年に長期構想として「2025年ビジョン」を掲げ、企業としてのありたい姿に向けて着実に取り組んできました。2025年度はこのビジョンの総仕上げとなる3か年計画「中期経営計画2025」の最終年度にあたり、ビジョン達成に向けた取り組みをより一層強化しています。

2025年度上期は、連結売上高、連結営業利益ともに前年度同期比で増収増益となりました。しかしながら、「中期経営計画2025」で掲げた連結営業利益130億円の達成は難しい状況です。一方で、ビジョンの中核となる「マーケティング

グ経営」という考え方が社内に浸透し、お客さまの課題とともに解決し、より良い価値を創造する姿勢が、各部門の成果へとつながっています。

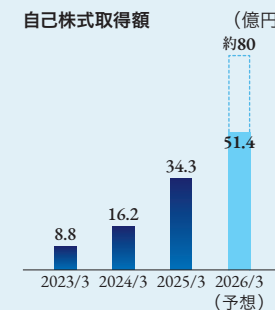
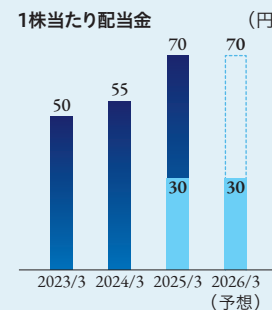
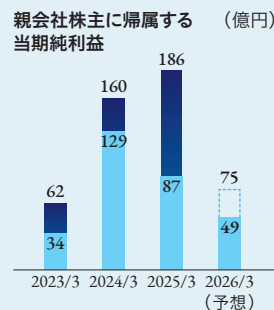
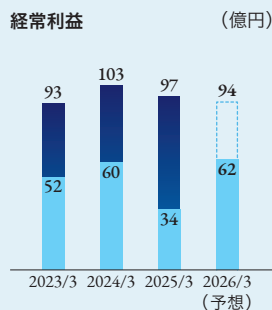
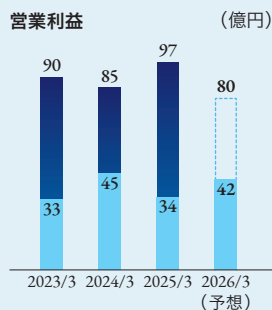
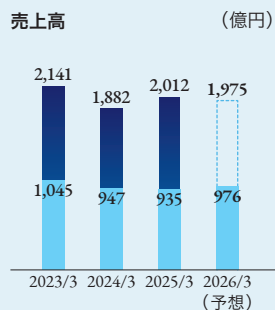
現在、持続可能な共生社会の実現に向けて、企業が果たすべき責任は一層重くなっています。加えて、株式市場からは、財務的な成果だけでなく、ESGへの取り組みや人的資本の活用など非財務的領域を含めた企業価値の継続的な向上が強く期待されています。当社グループは、こうした社会の要請に応え、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な成長を目指していきます。

今後もステークホルダーの皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、当社グループの企業価値の向上に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績ハイライト

■ 中間 ■ 通期 ■ 通期予想



# Highlights 2024.10~2025.9

2024年10月から2025年9月までの1年間に当社グループが対外発信した主なニュースを一覧でご紹介。今後も当社グループの様々な取り組みを発信していきます。

詳しくはこちら

<https://www.furukawakk.co.jp/info/2025/>



## 2024.10

- ユニック** 欧州でリチウムイオンバッテリー搭載のミニ・クローラークレーンを販売開始(写真1)
- ロックドリル** トンネル工事用機械が国交省のNETIS※で活用推奨技術に選定  
※ 新技術情報提供システム
- 産業機械** 東京都下水道局より「工事施行成績優良業者表彰」を受賞
- ユニック** 狭小地の住宅建築に貢献するミニ・クローラークレーンを販売開始(写真2)



1 2



## 2024.12

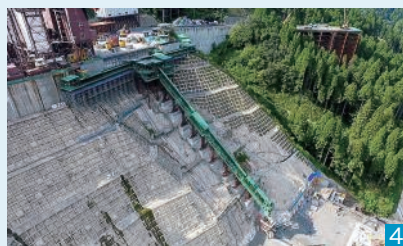
- ユニック** フラット型ユニックキャリア最上位機種を販売開始(写真3)



3

## 2025.2

- 産業機械** 密閉式吊下げ型コンベヤ「SICON®」をダム建設工事に納入し運転開始(写真4)
- IR** 増配、自己株式取得、投資有価証券売却、自己株式消却等の資本政策を発表
- ユニック** 架装能力強化とサービス収益拡大を目指し長野営業所に工場新設



4

# Topics

## トンネル工事用機械が国交省のNETIS※で活用推奨技術に選定

当社グループの中核事業会社である古河ロックドリル株式会社が製造販売するトンネル工事用機械「ROBO ARCH」と「ボルティンガー」が、山岳トンネル工事での鋼製支保工の建て込み、壁面へのコンクリート吹付、ロックボルト施工作業における安全性と生産性を画期的に高める技術として評価され、NETISに登録された新技術のなかから「令和6年度 国土交通大臣表彰技術」として活用推奨技術(NETIS推奨技術)に選ばれました。

危険な作業の多い山岳トンネル工事では、高齢化や人手不足が深刻化し、作業の効率化や安全性の向上が大きな課題となっています。古河ロックドリルでは、100年を超える経験と、最新のICT技術により、ロボット化させた建設機械を提供することで、山岳トンネル工事の安全性と生産性向上に貢献していきます。

※新技術情報提供システム



## 政策保有株式の縮減目標を達成、株主還元策を大幅に強化

2025年3月末時点において、政策保有株式の連結純資産に対する比率を2024年3月末の40.8%から16.6%まで大幅に縮減し、目標としていた20%未満を達成しました。その結果として、この2年間で約266億円の資金を調達し、成長投資のための原資を確保することができました。今後も、連結純資産に対する政策保有株式比率を縮減する方針です。また、株主還元を強化し、2024年度は配当を70円(記念配当を含む)に増配し、2025年度も70円を維持する方針です。更に、自己株式の取得も拡充し、2025年度までの3年間累計で当初計画の30億円から約130億円に拡大しています。この自己株式取得は、2003年の経営難の際、第三者割当増資で生じた株式価値の希薄化を元に戻すべく取得するもので、自己株式の消却を実行することで、めどが立ちます。

## 2025.3

- 産業機械** ▶ 名古屋市よりワーク・ライフ・バランス推進企業および子育て支援企業に認定
- IR** ▶ 株式会社三井三池製作所の株式取得(持分法適用関連会社化)
- IR** ▶ 従業員持株会向けに譲渡制限付株式を付与
- PR** ▶ 東京メトロに理系心をくすぐる多面広告を実施～創業150周年を機に学生に向け認知度の拡大～(写真**5**)



## 2025.4

- ユニック** ▶ 高機能装置を標準化したミニ・クローラクレーンを販売開始

## 2025.5

- IR** ▶ 株式会社アーステクニカ株式の譲渡の検討を開始する基本合意書の締結
- サステナ** ▶ 群馬環境リサイクルセンターの全電力を再生可能エネルギーに転換

## 2025.6

- ロックドリル ユニック** ▶ 世界三大建機展「bauma 2025」に出展し、ロックドリルやユニック製品を展示
- ロックドリル** ▶ 国交省のNETISに稼働サポートシステムが登録

## 2025.7

- 産業機械** ▶ 古河産機システムズ製品の導入事例集を公開
- 機械部門** ▶ 国際建設・測量展(CSPI-EXPO2025)に出展し、機械3部門の製品を展示

## 2025.8

- PR** ▶ 足尾銅山記念館を一般公開
- ロックドリル** ▶ 世界初のロックボルト施工完全自動化技術が「エンジニアリング奨励特別賞」を受賞

## 2025.9

- ユニック** ▶ 住宅建築用ミニ・クローラクレーンが「日本デザイン学会賞」を受賞
- 産業機械** ▶ 橋梁工事が高く評価され、「安全管理優良受注者表彰」および「難工事功勞表彰」を受賞(写真**6**)
- ロックドリル** ▶ 油圧クローラドリルの共通プラットフォーム化モデルを販売開始(写真**7**)
- PR** ▶ 創業150周年記念動画『私たちの背中』を公開



## 成長に向けた戦略的アライアンス・M&A

当社は、事業・製品のポートフォリオを継続的に見直し、コア事業である機械事業の深化と非連続的成長の両立を目指して取り組んでいます。その一環として、株式会社アーステクニカの株式譲渡に向けた検討開始および株式会社三井三池製作所への出資を決定しました。株式会社アーステクニカは、破碎機を中核とする高い技術力と生産性を備え、産業機械部門との親和性が高く、環境リサイクル分野も今後の成長が見込まれます。また、ロックドリル部門との連携により、鉱山・砕石分野での上流から下流までの一貫対応が可能となり、グローバル市場での事業基盤強化とシナジー創出が期待できます。株式会社三井三池製作所は、荷役運搬機械などの産業機械・装置の製造販売において長年の実績を有しており、産業機械部門およびロックドリル部門との間で高い事業補完性を持っています。製品群の連携を通じて営業・生産の両面でシナジーを創出し、成長を加速させていきます。

## 足尾銅山記念館を一般公開

古河グループ各社が共同出資・設立した一般社団法人古河市兵衛記念センターが、1911年2月に竣工した足尾鉱業所を当時の場所に復元し、「足尾銅山記念館」として2025年8月8日より一般公開しました。足尾銅山記念館では、創業者の思いに始まり、銅山の開発、先進技術の導入、町の発展、鉱害の発生とその克服、古河グループの形成、緑化活動などを、時代の変遷とともに展示しています。



## テレビ番組に協力し、当社の製品や施設が多数登場

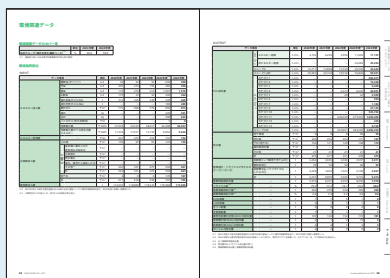
- 10月30日** ▶ TBSテレビ『海に眠るダイヤモンド』に手持ち式さく岩機を貸し出し
- 12月 2日** ▶ テレビ朝日『爆上戦隊ブンブンジャー』に吉井工場敷地内で撮影協力
- 12月 2日** ▶ テレビ朝日『ナスD大冒険TV』に亜酸化銅の画像提供
- 12月18日** ▶ BS日テレ『友近・礼二の妄想トレイン』に足尾銅山の画像提供
- 1月20日** ▶ テレビ東京『日曜ビッグバラエティ港のお仕事』に亜酸化銅の画像提供
- 3月 5日** ▶ TBSテレビ『Nスタ真夜中の仕事人』に歩道橋撤去工事で取材協力
- 7月28日** ▶ NHK『突撃! カネオくん』にドリルジャンボの映像提供



## 統合報告書／サステナビリティブック



統合報告書



サステナビリティブック

ステークホルダーの皆さまに当社グループへの理解を一層深めていただくため、持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティ方針などをまとめた「統合報告書2025」を発行しました。当社グループの価値創造の具体例や、事業戦略を部門別に詳しく紹介しています。サステナビリティに係る詳細の活動状況・データ等は「サステナビリティブック」をご覧ください。

## 動画チャンネルのご紹介(YouTube)



古河機械金属株式会社  
『150年の歩み』



150周年記念動画  
『私たちの背中』

当社の歴史やグループ会社の紹介映像をはじめ、150周年にちなんだ動画を公開しています。直近では、創業から現在までの歩みをまとめた『150年の歩み』やメッセージ動画『私たちの背中』『背中では語る』があります。「過去から積み重ねてきた歴史」と「これから未来へ向けて歩み続ける役職員の熱い思い」が感じられる内容になっています。ぜひご覧ください。

注：YouTubeはGoogle LLCの商標です

## 会社概要

2025年9月30日現在

### 古河機械金属株式会社(証券コード:5715)

#### 創業

1875(明治8)年8月

#### 設立

1918(大正7)年4月

#### 資本金

282億818万円

#### 従業員数

2,904名(連結)

#### 本社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号  
(常盤橋タワー)

TEL: (03)6636-9501(代表番号)

TEL: (03)6636-9504(法務部)

#### 中核事業会社

古河産機システムズ株式会社

古河ロックドリル株式会社

古河ユニック株式会社

古河メタルリソース株式会社

古河電子株式会社

古河ケミカルズ株式会社

#### 公式ウェブサイトはこちら

<https://www.furukawakk.co.jp/>

#### IR資料室はこちら

<https://www.furukawakk.co.jp/ir/library/>

## 株主メモ

#### 事業年度の末日

3月31日

#### 定時株主総会

6月

#### 定時株主総会の基準日

3月31日

#### 期末配当の基準日

3月31日

中間配当を実施するときの基準日は

9月30日

#### 単元株式数

100株

#### 公告掲載のウェブサイト

<https://www.furukawakk.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

#### 株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

#### 郵便物送付先及び各種お問合せ先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話(0120)782-031(フリーダイヤル)

#### 株式等に関する

#### マイナンバーのお届出のお願い

株式等の税務関係のお手続きにおいて、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社等へマイナンバーをお届出ください。なお、証券会社とのお取引がない株主様は、上記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

FURUKAWA CO.,LTD.

